

水稻技術情報

【胴割粒対策】

胆振農業改良普及センター

TEL 0142-23-3195



普及センターHP

「胴割粒」の発生に注意！

本年は出穂期以降、高温に経過しているため、胴割粒の発生が想定されます。適期収穫と適正な乾燥調製に努めてください。

1. 刈り遅れによる胴割粒発生に注意！

- 生育は、平年より7日以上早まっている。適期収穫を！
- 出穂の早かった水田は、8月下旬に成熟期に達している。
大半の水田は、8月末から9月5日頃に成熟期となる見込み。

積算気温による成熟期予測（伊達アメダス）

※出穂期からの平均気温の積算 910～950℃で成熟期と予測、8/31以降は平年値）

出穂期			
7月22日	7月25日	7月28日	7月31日
8/28～8/29	8/31～9/1	9/3～9/5	9/7～9/9

2. 乾燥機の温度設定を低めにする（乾燥前半）

本年は、通常の乾燥温度だと胴割粒が発生する恐れがあります。特に、籾水分20%以下で収穫した場合は注意が必要です。

- 籾水分20%までは、乾燥温度40℃以下（毎時乾減率0.5%以下）となるよう手動で乾燥温度を設定する。）
- 籾水分25%未満となったら、通常の温度で乾燥する。
- 籾水分20%前後）で収穫した場合は、さらに乾燥温度を5℃程度低めに設定する。
- 籾倉などを利用して乾燥途中で休止時間を設ける。

心白・腹白粒が発生しています

1. 整粒歩合を高める調製網目の選択を！

心白・腹白粒の混入が多い場合は、適正な網目で青米や未熟粒を振るい落とし、1等米の整粒歩合を確保してください。また、必要に応じて出荷前にJAに相談してください。